

栗原市病院事業経営健全化計画

平成 22 年度

— 重点取組事項等に対する点検・評価報告書 —

栗原市立病院経営評価委員会

【 所管：栗原市病院事業 医療局医療管理課 】

目 次

平成22年度重点取組事項等に対する点検・評価報告書

1 栗原中央病院の取組みに対する意見等	——	1
2 若柳病院の取組みに対する意見等	——	2
3 栗駒病院の取組みに対する意見等	——	2
4 総括	——	3

資料1 平成22年度重点取組事項に係る自己点検・評価

■ 栗原中央病院	——	4~5
■ 若柳病院	——	6~7
■ 栗駒病院	——	8~9

《自己点検・評価の記載項目》

- 1 病院の果たすべき役割（経営方針）
- 2 取組実績に対する点検
 - (1) 医療機能確保の視点
 - (2) 財務の視点
 - (3) 業務プロセスの視点
 - (4) 学習と成長の視点
- 3 収支計画及び決算（収益的収支）
- 4 主な経営指標及び実績
- 5 自己評価（病院総括）

[添付資料]

別紙1 市立3病院収支計画書	——	10~12
別紙2 市立3病院経営指標	——	13~15

資料2 栗原市立病院経営評価委員会委員	——	16
---------------------	----	----

資料3 栗原市立病院経営評価委員会設置要綱	——	17
-----------------------	----	----

栗原市病院事業経営健全化計画

平成22年度重点取組事項等に対する点検・評価報告書

栗原市病院事業から提出された「平成22年度重点取組事項に係る自己点検・評価」及び「決算関係資料」を基に、栗原市病院事業経営健全化計画における市立3病院の取組実績の点検を行った結果は、次のとおりである。

平成24年 3月26日

栗原市立病院経営評価委員会

委員長 小山田 恵

1 栗原中央病院の取り組みに対する意見等

医師招聘は病院運営には重要な問題であり、特に困難を極める地方において5名の医師を招聘できたことや、臨床研修医が加わったことは病院経営に大きな影響を与えたものと思われる。また、平成22年3月から7対1の看護師配置基準を取得し移行したことにより、良質な医療体制を整備できたと言える。今後においても7対1体制を維持できるよう看護職員の確保に努力願いたい。

さらに、リハビリテーション訓練室を増築したことにより、栗原医療圏でのリハビリテーションの充実など、病院機能の向上に積極的であり、地域医療の中核病院としての医療機能の充実が図られてきている。

財務の視点では、経常収支比率が99.7%と計画値に0.3%に迫り、現金支出を伴わない減価償却費及び固定資産除却費を除いた収支では297,878千円の黒字につながった。このことは、医師の増員や7対1看護師配置基準の継続、平均入院単価の改善などにより、前年度比較で入院収益が338,845千円の増収につながったことに起因している。

業務プロセスの視点では、病床利用率について急性期医療、DPC準備病院として運営したことを考慮すれば利用率アップは厳しい状況であったと思われるが、目標の80%以上の確保を目指した努力が望まれる。また、さらなる経営健全化を推進するためには、平均在院日数を極端に下げずに病床利用率を向上させる工夫、もしくは有効活用の検討も望まれる。

学習と成長の視点においては、認定看護師の養成に積極的に取り組んでいることは看護師全体のスキルアップにつながり、さらに患者様への良質な看護の提供にもつながることから、今後も継続的に養成することを期待したい。

また、経常収支では対前年度173,272千円の改善となり、医業収支においても127,813千

円の改善が見られた。しかし、費用が計画以上に増加していることから精査が必要であると考える。

経常収支比率で 100%一歩手前まで改善したことは大きな前進と評価する。さらなる経営健全化を目指して病床利用率 80%以上を達成できるよう今後も継続した努力が望まれる。

2 若柳病院の取り組みに対する意見

常勤医師 4 名による運営は他の同規模病院に比し少ない中、経常収支比率は毎年黒字を維持するという想像を絶する努力を感じている。病床利用率が 90.9%、外来患者は 1 日平均 218 名、訪問看護は月 200 件、居宅介護支援は月 90 件を実施しており、経常収支比率は 100.3% であり、純利益は 4,337 千円の黒字、現金支出を伴わない減価償却費及び固定資産除却費を除いた収支では 143,607 千円の黒字である。この経営数値は、地域医療に即した慢性期医療の基幹病院として高く評価できる。

しかしながら、平成 23 年 4 月から内科医 4 名と整形外科医 1 名の体制となったが、定年退職した外科医師の補充がされておらず、また、院長並びに整形外科医も高齢となってきたため、今後の医師の招聘が重要な課題と考える。

国の後発医薬品使用促進の方針に合致した、後発医薬品使用体制施設加算の基準を取得し取り組んでおり、今後も様々な角度から業務プロセスを検討し取り組んでほしい。

経常収支比率が平成 19 年度から 100%以上の実績を上げている。また、病床利用率も 90%以上をキープし、院長のリーダーシップと職員の努力に敬意を表する。

3 栗駒病院の取り組みに対する意見

新病院に移転したことにより病床は 75 床となり、現在は内科医 2 名、外科医 2 名の常勤医師 4 名での運営となっている。

前年度新病院に移転したことにより患者数が一時的に減少したが、平成 22 年度は病床利用率 87.7%、一般病床は 90.6%ということで、前年度に比し高い伸びを見せている。

決算においても、純利益が 2,794 千円のプラスとなったが、平成 21 年度から新築移転に伴う減価償却費が建設前に比し約 5 千万円増加しており、現金支出を伴わない減価償却費及び固定資産除却費を除いた収支では 75,889 千円の黒字となっている。

人口が少ない地域における病院運営は他病院等との連携が重要となるが、紹介率・逆紹介率も上昇したことは、病病・病診連携が深まってきたためと考えられる。

少ない医療スタッフで健全経営を行い、さらに地域医療の充実に向けた事業の展開は、地

域医療を担う病院の模範であると高く評価できる。

4 総括

栗原市病院事業の平成22年度の経営実績については、3病院とも現金支出を伴わない減価償却費及び固定資産除却費を除いた収支では全て黒字ということで、大変喜ばしい結果となった。このことは病院事業に携わる医療関係者の長年の努力の成果であり敬意を表したい。

しかしながら、過疎化、少子高齢化の進行する栗原地域において安定した経営を維持するためには、病床利用率の向上、一次診療となる地域の開業医、診療所との連携、不足している病院勤務医の招聘などの課題を今後どのように克服していくかが問われている。さらに地域の良質な医療のために経営には負担となるが、救急医療体制の充実、産科、小児科等の専門医の招聘も検討すべきである。

経営健全化計画に基づく栗原市病院事業の取り組みが、平成22年度収支に実を結んだ結果となったが、全国的地域医療のモデル的存在となりえるよう、今後益々の発展を期待したい。

平成22年度重点取組事項に係る自己点検・評価

病院名	栗原中央病院
-----	--------

1 病院の果たすべき役割（経営方針）

地域の中核病院として、高度医療や二次救急医療の役割を担い、急性期医療を中心に小児から成人・高齢者に至るまで、幅広い年代層への医療の提供、また、栗原地域の災害時における災害拠点病院としての機能、さらに、基幹型臨床研修指定病院としての役割を担います。

また、市民が必要な時に「安全」で「安心」できる医療を提供できるように努めるとともに、市立3病院・5診療所間はもとより、市内一次医療機関や近隣医療機関との病病連携・病診連携を図り、市民に質の高い適切な医療を安定的に提供します。

2 取組実績に対する点検

(1) 医療機能確保の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
常勤医師の招聘	平成23年4月採用常勤医師招聘： 院長（内科）、内科2名、整形外科1名、麻酔科1名、放射線科1名 ◆常勤医師数 H21:20名/H22:25名/H23:28名	常勤医師の招聘：循環器内科2名、神経内科1名、婦人科1名、耳鼻いんこう科1名、リハビリテーション科1名、小児科1名
7:1看護職員配置基準の継続	平成22年3月から7:1看護職員配置基準を取得し、良質な看護を提供できる体制を整えている	看護職員の計画的な採用（定員管理計画の見直し）
外来化学療法室の設置 （平成23年4月予定）	・専用室の設置準備 ・がん化学療法看護認定の看護師養成（1名） ・がん患者・家族サポート機能の整備（講演会開催、相談支援等）	安定した患者の確保
リハビリテーション医療の充実	リハビリテーション訓練室の増築（140㎡）	回復期リハビリテーション病棟施設基準の取得

(2) 財務の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
入院収益の改善	7:1看護職員配置基準の継続による入院収益の確保 （月額15,000千円程度の増収）	看護職員の計画的な採用（定員管理計画の見直し）
DPC対象病院移行に伴う体制整備 （平成23年4月に移行）	DPC検討委員会の設置による院内での周知・検討・環境整備 *委員会開催回数5回	・DPCコーディング委員会の設置による標準的な診断の調査検討や治療方法の周知など ・後発医薬品への切り替え、及び診療材料の見直し

(3) 業務プロセスの視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
電子カルテシステムの導入に向けた体制整備 （平成24年1月稼働予定）	システム導入検討委員会の設置 ・委員会開催回数14回 ・先進地視察4ヶ所（複数回）	システム運用推進委員会の設置 *円滑なシステム稼働と業務改善につながる体制整備*
初期臨床研修医の受入に向けた体制整備（定員2名）	*臨床研修医在籍数5名 臨床研修指導医講習会の受講促進、救急医療訓練装置の整備	魅力ある研修プログラムの構築及び院内全体による研修医定着のための環境整備
病床種別の見直し	療養病床10床を、一般病床に転換（H23.4許可、H23.5運用開始）	増床した一般病床の有効活用

(4) 学習と成長の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
認定看護師の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚・排泄ケア認定看護師の認定（平成22年7月：1名） ・がん化学療法看護認定の長期派遣研修（平成22年6月から：1名） ◆認定看護師 感染管理認定看護師1名 皮膚・排泄ケア認定看護師2名	計画的な研修機会の提供と院内における認定看護師の位置付け
院内研修の充実	接遇研修のほか、BLS講習、心疾患エコー研究、腹部超音波検査講習などの専門的研修を開催	計画的な院内研修の実施と受講しやすい環境整備

3 収支計画及び決算（収益的収支）

（単位：千円）

区分	年度	H20年度		H21年度		H22年度		H23年度
		決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	計画額
医業収益		3,183,124	3,546,886	3,231,096	3,546,886	3,632,174	3,546,886	
医業外収益		680,957	413,944	654,094	408,004	692,160	401,940	
特別利益		1,463	0	0	0	315	0	
合 計		3,865,545	3,960,830	3,885,190	3,954,890	4,324,649	3,948,826	
医業費用		3,715,930	3,721,937	3,802,180	3,705,925	4,075,445	3,693,628	
医業外費用		265,035	256,516	271,071	249,410	263,678	242,156	
特別損失		2,473	663	23,827	663	1,006	663	
合 計		3,983,438	3,979,116	4,097,078	3,955,998	4,340,129	3,936,447	
当年度経常損益		▲116,884	▲17,623	▲188,061	▲445	▲14,789	13,042	
当年度純損益		▲117,894	▲18,286	▲211,888	▲1,108	▲15,480	12,379	
累積欠損金		▲4,790,572	▲4,619,609	▲5,002,460	▲4,620,717	▲5,017,940	▲4,608,338	

※詳細は、資料1「市立3病院収支計画書」のとおり。

4 主な経営指標及び実績

（単位：%）

区分	H19年度	H20年度		H21年度		H22年度		H23年度
	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値
経常収支比率	82.8	96.3	97.1	99.6	95.4	100.0	99.7	100.3
病床利用率	69.4	79.3	71.4	80.0	65.7	80.0	69.7	80.0
職員給与費比率	55.9	51.3	54.5	50.3	55.2	50.5	52.9	50.7
不良債務比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※詳細は、資料2「市立病院経営指標」のとおり。

5 自己評価（病院総括）

平成22年度は、対前年度4月比較で常勤医師が5人増員し、また7:1看護職員配置基準を継続した結果、対前年度比較で入院収益が338,845千円の増収につながった。

収益の向上に比例し費用も増加しているが、収支差引額は△15,480千円となり、前年度と比較し約190,000千円の損失改善であり、現金支出を伴わない減価償却費及び固定資産除却費を除いた収支では、297,878千円の黒字になった。

これは、問題意識を持ち病院全体として取り組んだ結果であり、大いに職員の励みになっている。

引き続き、4つの視点に基づいた取り組みを継続し、経営の安定化を図りながら、市民の皆さんが必要な時に安全で安心できる医療の提供に努めていきたい。

平成22年度重点取組事項に係る自己点検・評価

病院名	若柳病院
-----	------

1 病院の果たすべき役割（経営方針）

「生活医療圏」の中での医療の提供、そのための「地域密着型慢性期医療」の基幹病院として、また、在宅医療・訪問看護・介護支援の拠点として、中核病院・地域診療所等との連携を図りながら、初期診療における総合的な判断と診療を行い、救急については一時救急はもとより、可能な限りの二次救急を行い、地域住民に信頼される病院を目指します。

2 取組実績に対する点検

(1) 医療機能確保の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
医師充足率の確保 常勤内科医の確保	医師配置特例の再適用を受けながら、医師の確保に向け、努力してきたところ、3月末に内科医師2名の採用が決まった。	3月で退職した外科医の後任を確保することが課題である。

(2) 財務の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
未収金の発生防止と回収策の検討、督促の強化	夜間休日の預かり金の実施や、文書、電話による督促及び訪問徴収の実施。	入院・外来とも患者数が減ってきており、在院日数を延ばさずに病床稼働率を上げる。 不納欠損の基準を作り、未収金の削減を図る。

(3) 業務プロセスの視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
後発医薬品使用体制加算の施設基準取得 地域医療研修の受入れ施設としての研修内容の充実 訪問体制の充実・強化	22年8月に後発医薬品使用体制施設加算の基準を取得。 仙台社会保険病院より地域医療研修生を受け入れている。 在宅介護支援室に看護師1名増員し、充実・強化を図った。	診療報酬基準改定に伴う、新たな施設基準や医療点数の検討。取得。

(4) 学習と成長の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
他病院、医療局との連携による情報と意識の共有化	栗原保健所と協力し、東北大学遠藤先生を招いた「感染症対策研修会」には、栗原中央病院のほか市内7つの民間病院・老人介護施設等より19人が参加して行われた。	各種研修会の開催により、技術の向上と意識の改革を図る。

3 収支計画及び決算（収益的収支）

（単位：千円）

区分	年度	H21 年度		H22 年度		H23 年度	
		決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額
医業収益		1,663,392	1,678,580	1,714,251	1,678,580	1,565,487	1,678,580
医業外収益		192,852	188,188	182,795	187,320	207,980	185,838
特別利益		73	0	0	0	1,990	0
合計		1,856,317	1,866,768	1,897,046	1,865,900	1,873,876	1,864,418
医業費用		1,724,217	1,777,108	1,750,149	1,747,928	1,660,867	1,716,574
医業外費用		109,585	110,091	111,087	108,790	107,398	106,566
特別損失		2,612	481	952	481	2,855	481
合計		1,836,414	1,887,680	1,862,188	1,857,199	1,771,120	1,823,621
当年度経常損益		22,442	▲20,431	35,810	9,182	5,202	41,278
当年度純損益		19,903	▲20,912	34,858	8,701	4,337	40,797
累積欠損金		8,280	▲40,479	43,138	▲31,778	47,475	9,019

※詳細は、資料1「市立3病院収支計画書」のとおり。

4 主な経営指標及び実績

（単位：％）

	H19 年度	H20 年度		H21 年度		H22 年度		H23 年度
	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値
経常収支比率	101.7	98.9	101.2	98.9	101.9	100.5	100.3	102.3
病床利用率	91.7	92.5	91.6	92.5	93.4	92.5	90.9	92.5
職員給与費比率	48.6	50.8	49.6	51.0	48.1	51.2	51.7	51.5
不良債務比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※詳細は、資料2「市立病院経営指標」のとおり。

5 自己評価（病院総括）

常勤医師不足の中、非常勤医師や診療所医師による診療応援により、医師充足率を確保しながら診療してきたが、内科常勤の医師2名には外来（週4日）・入院（1人40人）・在宅（1人40人）と過剰な負担があったと思われる。また、訪問看護は月200件、居宅介護支援は月90件ほどであった。経営的には病床利用率も高く、経常収支比率も安定している。

また、3月末には内科医師2名の就任が決まり、23年4月から内科は常勤医師4名体制となったが、外科が3月で退職し後任医師の確保ができなかった。また、病院長・整形外科医も高齢となり、退職が近づいているため、後任の確保が重要となっている。

平成22年度重点取組事項に係る自己点検・評価

病院名	栗駒病院
-----	------

1 病院の果たすべき役割（経営方針）

<p>地域に密着した良質な医療を提供し、地域住民の健康を守ることに全力を尽くします。 「和顔愛語」「恕」の精神で多くの地域住民から愛される病院を目指します。</p>
--

2 取組実績に対する点検

(1) 医療機能確保の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
地域医療連携の推進	紹介率 H21 年度 15.5%→19.3% 逆紹介率 H21 年度 23.0%→22.4% 逆紹介率は市立病院・診療所等を含めると H21 年度 34.4%→38.1%となり、増加している。	H22.2 に配置した専任の退院調整担当看護師を活用し、更なる紹介率の向上・地域連携の充実を図る。 (H23 目標：紹介率 20%、逆紹介率 35%)
リハビリテーションの充実	H22 年 4 月より、リハビリ機能強化のため、常勤理学療法士を 1 名から 2 名に増員した。	今後も必要に応じ人的・設備的な機能強化を行う。

(2) 財務の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
病床利用率の向上と平均在院日数の短縮	病床利用率は 87.7%となり前年度比+7.3%となった。特に、一般病棟は 90.6%と大幅に向上した。 亜急性期病床 8 床の稼働により、平均在院日数は 20.6 日→18.1 日に短縮した。	H22 に引き続き、病床利用率の向上と平均在院日数の短縮に努める。
経費の節減	契約の内容見直し、複数年化等により既契約の業務委託経費を 2,987 千円(△12.4%)削減した。	今後も職員の協力を得ながら、各種経費削減に取り組む。

(3) 業務プロセスの視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
医療安全の充実	リスクマネジメント部会 11 回開催 リスクカンファレンス 32 回開催 院内研修 4 回 延べ 115 名参加 院外研修 5 回 延べ 17 名参加	毎週開催するカンファレンスで事例分析を行うとともに、各種研修の充実を図り、医療事故防止に努める。

(4) 学習と成長の視点

目 標	取組実績	今後の課題・取組等
専門性の向上	認定看護管理者研修受講 1 名(ファーストレベル) 医療安全管理者研修 1 名	認定看護管理者研修は、毎年 1 名受講予定
各種研修の充実	H22 年度院内研修 22 回延べ 530 名 H22 年度院外研修 40 回延べ 108 名 (医療安全研修を除く)	今後も院内研修の充実を図るとともに、積極的に院外研修を受講できる環境を作る

3 収支計画及び決算（収益的収支）

（単位：千円）

区分	年度	H20 年度		H21 年度		H22 年度		H23 年度
		決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	計画額
医業収益		743,322	839,177	753,638	839,177	776,251	839,177	
医業外収益		146,216	160,363	167,572	160,165	177,906	159,612	
特別利益		2,820	0	0	0	656	0	
合計		892,358	999,540	921,210	999,342	954,813	998,789	
医業費用		896,646	991,801	919,341	995,088	913,458	1,000,084	
医業外費用		22,175	52,483	36,528	52,086	37,848	50,980	
特別損失		3,630	449	19,858	449	713	449	
合計		922,451	1,044,733	975,727	1,047,623	952,019	1,051,513	
当年度経常損益		▲29,283	▲44,744	▲34,659	▲47,832	2,851	▲52,275	
当年度純損益		▲30,093	▲45,193	▲54,517	▲48,281	2,794	▲52,724	
累積欠損金		▲19,366	61,160	▲73,883	12,879	▲71,089	▲39,845	

※詳細は、資料1「市立3病院収支計画書」のとおり。

4 主な経営指標及び実績

（単位：%）

区分	H19 年度	H20 年度		H21 年度		H22 年度		H23 年度
	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値	実績	計画値
経常収支比率	104.6	106.7	96.8	95.7	96.4	95.4	100.3	95.0
病床利用率	77.7	79.4	65.5	90.7	80.4	90.7	87.7	90.7
職員給与費比率	61.2	60.5	69.8	60.0	66.6	60.2	65.3	60.5
不良債務比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※詳細は、資料2「市立病院経営指標」のとおり。

5 自己評価（病院総括）

平成22年度は、新病院新築・移転2年目となり、年度当初より高い病床利用率を維持することができた。また、4月から亜急性期入院医療管理料病床8床が稼働した。その結果、病床利用率は87.7%となり、前年度比で+7.3%となったが、平均在院日数は20.6日から18.1日に短縮することができた。その結果、収益的収入は前年度比+33,603千円の増収となった。一方、費用は委託経費等の削減に加え、21年度に発生した旧病院の不要器械・備品等の除却費がなくなったため、前年度比△23,708千円となり、差し引き+2,794千円の純利益となった。

また、22年度は、栗原市の委託を受け、栗駒文字地区住民を対象とした「地域情報通信を活用した疾病予防健康推進システム構築事業」（遠隔医療実験）と「認知症予防事業事後指導」を実施している。

東日本大震災時は、停電で行き場を失った地域の在宅医療患者を受け入れる等、地域に密着し信頼される医療機関として一定の役割を果たすことができた。

資料1 市立3病院収支計画書

1 栗原中央病院

(単位：千円)

区分	年度	H20年度		H21年度		H22年度		H23年度
		計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額
1 医業収益		3,462,717	3,183,124	3,546,886	3,231,096	3,546,886	3,632,174	3,546,886
(1) 入院収益		2,465,429	2,184,758	2,549,598	2,176,445	2,549,598	2,515,290	2,549,598
(2) 外来収益		767,928	681,753	767,928	723,174	767,928	762,023	767,928
(3) その他医業収益		115,396	137,066	115,396	139,255	115,396	141,262	115,396
(4) 他会計負担金		113,964	179,547	113,964	192,222	113,964	213,599	113,964
2 医業費用		3,769,142	3,715,930	3,721,937	3,802,180	3,705,925	4,075,445	3,693,628
(1) 給与費		1,776,193	1,734,729	1,783,734	1,783,958	1,791,309	1,923,212	1,798,920
(2) 材料費		619,771	530,901	619,771	561,914	619,771	626,741	619,771
(3) 経費		1,004,384	1,079,051	1,005,252	1,128,718	1,006,124	1,201,335	1,007,001
(4) 減価償却費		359,366	357,849	302,752	309,827	278,293	312,941	257,508
(5) 資産減耗費		1,000	5,376	2,000	9,673	2,000	2,064	2,000
(6) 研究研修費		8,428	8,024	8,428	8,090	8,428	9,152	8,428
医業損失/医業利益		-306,425	-532,806	-175,051	-571,084	-159,039	-443,271	-146,742
3 医業外収益		419,717	680,957	413,945	654,094	408,005	692,160	401,941
(1) 受取利息配当金		1	477	1	639	1	3,237	1
(2) 他会計補助金		96,858	114,283	96,858	144,757	96,858	149,440	96,858
(3) 補助金		26,522	29,986	25,610	30,251	24,680	43,159	23,730
(4) 負担金交付金		280,657	510,771	275,796	441,026	270,786	453,580	265,672
(5) その他医業外収益		15,679	25,440	15,680	37,421	15,680	42,744	15,680
(6) 雑収益		0	0	0	0	0	0	0
4 医業外費用		263,387	265,035	256,516	271,071	249,410	263,678	242,156
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費		198,318	200,375	191,447	194,364	184,341	187,507	177,087
(2) 繰延勘定償却		0	0	0	0	0	0	0
(4) 雑支出		65,069	64,660	65,069	76,707	65,069	76,171	65,069
経常利益/経常損失		-150,095	-116,884	-17,622	-188,061	-444	-14,789	13,043
5 特別利益		0	1,463	0	0	0	315	0
(1) その他特別利益		0	1,463	0	0	0	315	0
6 特別損失		663	2,473	663	23,827	663	1,006	663
(1) 過年度損益修正損		663	541	663	2,403	663	680	663
(2) その他特別損失		0	73	0	21,424	0	26	0
(3) 臨時損失		0	1,859	0	0	0	300	0
当年度純利益/純損失		-150,758	-117,894	-18,285	-211,888	-1,107	-15,480	12,380
前年度繰越利益剰余金/欠損金		-4,450,565	-4,672,678	-4,601,323	-4,790,572	-4,619,608	-5,002,460	-4,620,715
当年度未処分利益剰余金/未処理欠損金		-4,601,323	-4,790,572	-4,619,608	-5,002,460	-4,620,715	-5,017,940	-4,608,335

※端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

2 若柳病院

(単位：千円)

区分	年度	H20年度		H21年度		H22年度		H23年度
		計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額
1	医業収益	1,678,580	1,663,392	1,678,580	1,714,251	1,678,580	1,565,487	1,678,580
	(1) 入院収益	1,110,258	1,091,437	1,110,258	1,118,746	1,110,258	1,005,379	1,110,258
	(2) 外来収益	425,932	429,150	425,932	442,422	425,932	440,053	425,932
	(3) その他医業収益	58,390	56,305	58,390	56,754	58,390	48,102	58,390
	(4) 他会計負担金	84,000	86,500	84,000	96,329	84,000	71,953	84,000
2	医業費用	1,776,858	1,724,217	1,777,108	1,750,149	1,747,928	1,660,867	1,716,574
	(1) 給与費	853,113	824,948	856,663	823,776	860,231	809,880	863,813
	(2) 材料費	336,198	301,103	336,198	317,864	336,198	252,820	336,198
	(3) 経費	411,111	419,573	411,497	436,710	411,885	457,144	412,274
	(4) 減価償却費	174,553	173,409	170,867	169,120	137,731	139,206	101,906
	(5) 資産減耗費	210	3,520	210	820	210	391	710
	(6) 研究研修費	1,673	1,664	1,673	1,859	1,673	1,426	1,673
	医業損失／医業利益	-98,278	-60,825	-98,528	-35,898	-69,348	-95,380	-37,994
3	医業外収益	188,869	192,852	188,188	182,795	187,320	207,980	185,838
	(1) 受取利息配当金	0	293	0	80	0	908	0
	(2) 他会計補助金	28,421	26,729	28,421	26,769	28,421	33,200	28,421
	(3) 補助金	7,898	10,563	7,898	10,156	7,898	8,568	7,898
	(4) 負担金交付金	149,528	151,898	148,847	143,372	147,979	162,897	146,497
	(5) その他医業外収益	3,022	3,369	3,022	2,418	3,022	2,407	3,022
	(6) 雑収益	0	0	0	0	0	0	0
4	医業外費用	111,112	109,585	110,091	111,087	108,790	107,398	106,566
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	70,792	71,752	69,771	70,785	68,470	69,712	66,246
	(2) 繰延勘定償却	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251
	(4) 雑支出	32,069	29,582	32,069	32,051	32,069	29,435	32,069
	経常利益／経常損失	-20,521	22,442	-20,431	35,810	9,182	5,202	41,278
5	特別利益	0	73	0	0	0	1,990	0
	(1) その他特別利益	0	73	0	0	0	1,990	0
6	特別損失	481	2,612	481	952	481	2,855	481
	(1) 過年度損益修正損	481	2,464	481	946	481	957	481
	(2) その他特別損失	0	77	0	6	0	2	0
	(3) 臨時損失	0	71	0	0	0	1,896	0
	当年度純利益／純損失	-21,002	19,903	-20,912	34,858	8,701	4,337	40,797
	前年度繰越利益剰余金／欠損金	1,435	-11,623	-19,567	8,280	-40,479	43,138	-31,778
	当年度未処分利益剰余金／未処理欠損金	-19,567	8,280	-40,479	43,138	-31,778	47,475	9,019

※端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

3 栗駒病院

(単位：千円)

区分	年度	H20年度		H21年度		H22年度		H23年度
		計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	決算額	計画額
1 医業収益		841,995	743,322	839,177	753,638	839,177	776,251	839,177
(1) 入院収益		535,221	462,904	523,686	458,101	523,686	504,087	523,686
(2) 外来収益		199,522	188,287	206,785	191,708	206,785	197,442	206,785
(3) その他医業収益		27,565	20,634	29,019	23,753	29,019	26,058	29,019
(4) 他会計負担金		79,687	71,497	79,687	80,076	79,687	48,664	79,687
2 医業費用		903,640	896,646	991,801	919,341	995,088	913,458	1,000,084
(1) 給与費		509,578	519,166	503,529	502,190	505,573	507,171	507,628
(2) 材料費		103,278	95,052	102,680	85,049	102,680	83,819	102,680
(3) 経費		264,637	259,306	281,383	256,289	281,069	247,546	281,391
(4) 減価償却費		23,627	20,873	103,062	73,821	104,619	72,864	107,238
(5) 資産減耗費		1,473	1,446	100	652	100	820	100
(6) 研究研修費		1,047	803	1,047	1,340	1,047	1,238	1,047
医業損失／医業利益		-61,645	-153,324	-152,624	-165,703	-155,911	-137,207	-160,907
3 医業外収益		149,476	146,216	160,363	167,572	160,165	177,906	159,612
(1) 受取利息配当金		0	135	0	29	0	553	0
(2) 他会計補助金		25,801	18,229	25,801	16,236	25,801	27,764	25,801
(3) 補助金		0	0	0	0	0	139	0
(4) 負担金交付金		115,376	116,900	126,263	138,484	126,065	141,466	125,512
(5) その他医業外収益		8,299	10,952	8,299	12,823	8,299	7,984	8,299
(6) 雑収益		0	0	0	0	0	0	0
4 医業外費用		25,654	22,175	52,483	36,528	52,086	37,848	50,980
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費		12,432	9,630	34,311	21,842	33,914	22,199	32,808
(2) 繰延勘定償却		0	1,326	4,950	4,015	4,950	3,999	4,950
(4) 雑支出		13,222	11,219	13,222	10,671	13,222	11,650	13,222
経常利益／経常損失		62,177	-29,283	-44,744	-34,659	-47,832	2,851	-52,275
5 特別利益		0	2,820	0	0	0	656	0
(1) その他特別利益		0	2,820	0	0	0	656	0
6 特別損失		449	3,630	449	19,858	449	713	449
(1) 過年度損益修正損		449	56	449	156	449	87	449
(2) その他特別損失		0	0	0	19,702	0	0	0
(3) 臨時損失		0	3,574	0	0	0	626	0
当年度純利益／純損失		61,728	-30,093	-45,193	-54,517	-48,281	2,794	-52,724
前年度繰越利益剰余金／欠損金		44,625	10,727	106,353	-19,366	61,160	-73,883	12,879
当年度未処分利益剰余金／未処理欠損金		106,353	-19,366	61,160	-73,883	12,879	-71,089	-39,845

※端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

資料2 市立3病院経営指標

1 栗原中央病院

経営指標項目		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
①病院機能評価	計画	○					
	実績		Ver.5.0 認定				
②1日平均入院患者数	計画	210.0人	230.0人	240.0人	240.0人	240.0人	
	実績	201.3人	206.9人	197.2人	209.1人		
③1日平均外来患者数	計画	480.0人	480.0人	480.0人	480.0人	480.0人	
	実績	414.0人	414.5人	423.9人	418.2人		
④紹介率	計画	28.7%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	
	実績	30.2%	35.4%	32.9%	39.6%		
⑤逆紹介率	計画	21.9%	40.0%	40.0%	45.0%	50.0%	
	実績	20.7%	19.5%	20.5%	21.5%		
⑥医業収益比率	計画	88.6%	89.2%	89.5%	89.7%	89.8%	
	実績	87.6%	82.4%	83.2%	84.0%		
⑦病床利用率	計画	72.6%	79.3%	80.0%	80.0%	80.0%	
	実績	69.4%	71.4%	65.7%	69.7%		
内 訳	一般病床	計画	77.8%	82.0%	84.0%	84.0%	84.0%
		実績	72.9%	73.5%	68.8%	72.3%	
	療養病床	計画	40.1%	62.5%	60.0%	60.0%	60.0%
		実績	47.9%	58.0%	50.3%	56.8%	
⑧ 平均入院単価	計画	29,892円	29,368円	29,105円	29,105円	29,105円	
	実績	28,090円	28,925円	30,244円	32,958円		
内 訳	一般病床	計画	31,120円	31,120円	31,120円	31,120円	31,120円
		実績	29,447円	30,476円	32,284円	35,652円	
	療養病床	計画	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
		実績	15,187円	16,655円	16,308円	15,816円	
⑨平均外来単価	計画	6,530円	6,530円	6,530円	6,530円	6,530円	
	実績	6,552円	6,768円	7,049円	7,498円		
⑩経常収支比率	計画	88.0%	96.3%	99.6%	100.0%	100.3%	
	実績	82.8%	97.1%	95.4%	99.7%		
⑪平均在院日数 (一般病床)	計画	18.0日	17.0日	17.0日	17.0日	16.0日	
	実績	18.7日	18.6日	17.0日	16.4日		

2 若柳病院の経営指標及び実績

経営指標項目		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
①病院機能評価	計画						
	実績						
②1日平均入院患者数	計画	111.0人	111.0人	111.0人	111.0人	111.0人	
	実績	110.1人	110.0人	112.0人	109.1人		
③1日平均外来患者数	計画	250.0人	250.0人	250.0人	250.0人	250.0人	
	実績	235.5人	235.4人	234.7人	218.2人		
④紹介率	計画	15.0%	18.0%	20.0%	20.0%	20.0%	
	実績	13.6%	27.2%	32.2%	32.8%		
⑤逆紹介率	計画	23.5%	28.0%	30.0%	30.0%	30.0%	
	実績	25.5%	32.7%	36.9%	49.7%		
⑥医業収益比率	計画	89.8%	89.9%	89.9%	90.0%	90.0%	
	実績	89.7%	89.6%	90.4%	88.2%		
⑦病床利用率	計画	92.8%	92.5%	92.5%	92.5%	92.5%	
	実績	91.7%	91.6%	93.4%	90.9%		
内 訳	一般病床	計画	92.5%	92.2%	92.2%	92.2%	92.2%
		実績	91.3%	90.9%	93.2%	88.7%	
	療養病床	計画	93.6%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%
		実績	93.1%	93.8%	93.7%	97.6%	
⑧ 平均入院単価	計画	27,404円	27,404円	27,404円	27,404円	27,404円	
	実績	27,130円	27,201円	27,356円	25,243円		
内 訳	一般病床	計画	31,588円	31,588円	31,588円	31,588円	31,588円
		実績	31,499円	31,343円	31,176円	28,624円	
	療養病床	計画	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
		実績	14,272円	15,167円	15,956円	16,026円	
⑨平均外来単価	計画	6,954円	6,954円	6,954円	6,954円	6,954円	
	実績	7,516円	7,504円	7,789円	8,299円		
⑩経常収支比率	計画	98.9%	98.9%	98.9%	100.5%	102.3%	
	実績	101.7%	101.2%	101.9%	100.3%		
⑪平均在院日数	計画	18.8日	18.0日	18.0日	18.0日	18.0日	
	実績	20.1日	19.9日	21.5日	22.0日		

3 栗駒病院の経営指標及び実績

経営指標項目		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
①病院機能評価	計画						
	実績						
②1日平均入院患者数	計画	77.0人	77.0人	68.0人	68.0人	68.0人	
	実績	75.4人	63.5人	60.3人	65.8人		
③1日平均外来患者数	計画	162.0人	162.0人	162.0人	162.0人	162.0人	
	実績	149.7人	148.5人	145.7人	136.9人		
④紹介率	計画	15.5%	20.0%	20.0%	25.0%	30.0%	
	実績	16.4%	12.6%	15.5%	19.3%		
⑤逆紹介率	計画	34.1%	35.0%	35.0%	35.0%	35.0%	
	実績	26.5%	26.8%	23.0%	22.4%		
⑥医業収益比率	計画	85.5%	84.9%	84.0%	84.0%	84.0%	
	実績	85.3%	83.3%	81.8%	81.3%		
⑦病床利用率	計画	79.6%	79.4%	90.7%	90.7%	90.7%	
	実績	77.7%	65.5%	80.4%	87.7%		
内 訳	一般病床	計画	78.2%	78.0%	91.1%	91.1%	91.1%
		実績	76.7%	69.4%	80.9%	90.6%	
	療養病床	計画	81.1%	80.9%	90.0%	90.0%	90.0%
		実績	78.8%	61.3%	79.6%	83.5%	
⑧ 平均入院単価	計画	19,044円	19,044円	21,099円	21,099円	21,099円	
	実績	19,266円	19,967円	20,807円	20,992円		
内 訳	一般病床	計画	24,564円	24,564円	25,116円	25,116円	25,116円
		実績	24,344円	24,148円	24,613円	24,781円	
	療養病床	計画	13,378円	13,378円	15,000円	15,000円	15,000円
		実績	14,008円	14,926円	15,003円	14,826円	
⑨平均外来単価	計画	5,027円	5,027円	5,210円	5,210円	5,210円	
	実績	5,149円	5,219円	5,439円	5,935円		
⑩経常収支比率	計画	108.0%	106.7%	95.7%	95.4%	95.0%	
	実績	104.6%	96.8%	96.4%	100.3%		
⑪平均在院日数	計画	20.0日	19.0日	18.0日	18.0日	18.0日	
	実績	19.2日	19.9日	20.6日	18.1日		

栗原市立病院経営評価委員会委員

《資料2》

No	所 属	役職名	氏 名	備 考
1	全国自治体病院協議会	名誉会長	小山田 惠	●委員長
2	(財)大原綜合病院	会 長	有 我 由紀夫	福島市医師会長
3	国立病院機構 仙台医療センター	事務部長	久 保 瀧 哉	(H22. 10. 31まで)
	国立病院機構 宮城病院	事務部長	佐 藤 浩 司	(H22. 11. 1から)
4	栗原市医師会	議 長	宮城島 堅	宮城島クリニック院長
5	(社)宮城県看護協会	会 長	上 田 笑 子	
6	宮城県総務部	参事兼市町村課長	吉 田 祐 幸	(H21. 3. 31まで)
		市町村課長	池 田 敬 之	(H23. 6. 30まで)
		参事兼市町村課長	渡 辺 達 美	(H23. 7. 1から)
7	日本医療文化化研究会	主宰	茨 常 則	●副委員長 総務省地方公営企業経営 アドバイザー (東京都)
8	矢川昌宏公認会計士事務所	代 表	矢 川 昌 宏	公認会計士・税理士 (石巻市)
9	栗原市企業連絡協議会	会 長	小 山 信 康	(株)宮城化成 会長
10	栗っこ農業協同組合	代表理事組合長	菅 原 章 夫	(H23. 8. 1から 代表理事会長)
		代表理事組合長	曾 根 正 範	(H23. 8. 1から)

(敬称略)

栗原市立病院経営評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 栗原市病院事業経営健全化計画（以下「計画」という。）に基づく取組状況、計画の見直し等に関する事項及び市立病院事業の経営全般について評価、検討等を実施し、市立病院事業の経営健全化等を図ることを目的として栗原市立病院経営評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 計画に基づく取組状況、計画の見直し等に関すること。
- (2) 市立病院の経営全般について評価、検討等を実施すること。
- (3) その他病院事業管理者が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、病院事業管理者が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 医療関係者
- (3) その他病院事業管理者が必要と認める者

3 委員の任期は、平成24年3月31日とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選任する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第6条 委員会は、必要があると認めるときは、議事に係る関係者又は専門家に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は必要な書類の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、医療局医療管理課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成20年12月1日から施行する。

(会議の招集の特例)

2 この告示の施行後、最初に開かれる会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、病院事業管理者が招集する。